

副理事長基本方針

副理事長 児玉 裕

別府青年会議所は、一昨年度に公益社団法人へと移行、昨年度は九州地区大会を主管し、本年度は創立40周年を迎えます。日々の運動が市民から評価される機会が増える中、会員一人ひとりが先輩方の築いてこられた39年間の歴史と伝統を守り、継承していかなければなりません。「奉仕・修練・友情」の三信条のもと、会員が地域におけるオピニオンリーダーとしての自覚を持ち、新たな一歩を踏み出していくことが責務であると考えます。

まずは、会員一人ひとりが自己研鑽を重ね、JAYCEEである前に地域社会を支える一人の青年経済人としての資質を高めると同時に、組織としての規律を徹底することで、別府青年会議所としての組織力の向上を図ります。そして、様々な活動や運動に取り組む際に、各自が周りの状況や内容を把握することで事業へ参画する意識を醸成します。そのような高い意識のもと、現在の地域社会には何が必要であるのかを的確に捉えることのできる、先見性の高いリーダーを育成致します。また我々が、地域社会の発展を牽引するオピニオンリーダーであるという自覚を持ち、地域社会を見つめることで、市民へ実効性の高い運動を発信します。さらに、公益社団法人として、市民意識の変革を促すことのできる事業を展開し、「まち」における別府青年会議所の理解を深め、会員拡大を目指します。最後に、創立40周年を迎えるにあたり、今一度先輩方の築いてこられた歴史を振り返り、熱き想いと伝統を継承し、それを力に変え若者らしく失敗を恐れず何事にも果敢に挑戦しオピニオンリーダーとして、この地域においてなくてはならない組織へと進化します。

自らを律することのできる人材が集い、規律の徹底が図られた意気溢れる組織が一体となり、気概と信念を持ち、次世代へ向け踏み出します。その新たな一歩が、未来のこの地域の明るい豊かな社会を築く礎になると確信し、誠心誠意邁進して参ります。